

2. 農業経済の動向

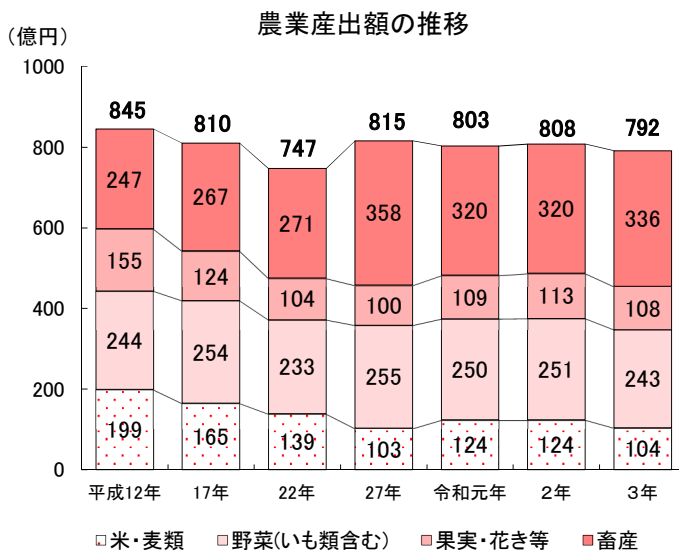
① 農業生産

農業産出額は需給の緩和や作柄の影響による価格低迷などにより減少傾向にあり、平成9年以降1,000億円を割り込み推移している。令和3年の農業産出額は792億円で、前年(808億円)に比べ16億円減少した。部門別に見ると、耕種(米・麦・野菜・果樹・花き等)は455億円で、前年に比べ33億円減少し、畜産は336億円で16億円増加した。

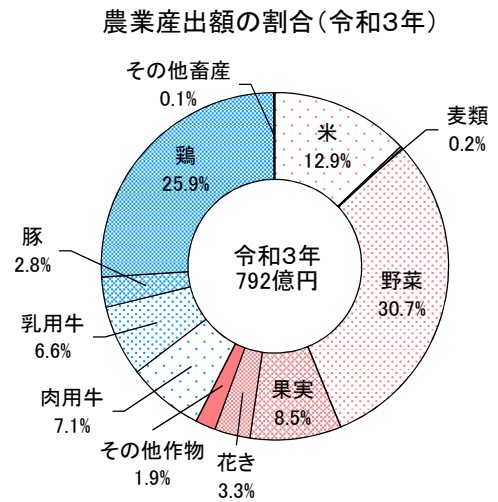
なお、平成19年以降は統計手法変更のため、過年次データとの比較の際は注意が必要である。

《平成19年からの主な変更点》

- ※1 推計単位を市町村から都道府県に変更したため、市町村間で取引された中間生産物については計上されない。
- ※2 水田・畑作経営所得安定対策の導入により、これまで麦類、大豆の産出額に含まれていた交付金の一部が、過去の生産実績に対する交付金として経営体に一括して交付されることとなったため、当該作物の産出額として計上されていない。



資料:農林水産省「生産農業所得統計」

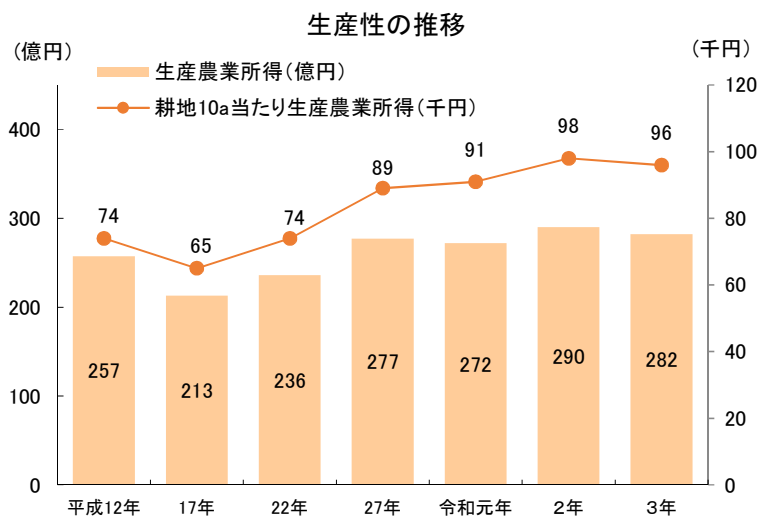


資料:農林水産省「生産農業所得統計」

② 生産性

令和3年の生産農業所得は282億円となっており、前年(290億円)に比べ8億円減少した。

生産農業所得を耕地10a当たりで見ると96千円となり、前年に比べ2千円減少した。



資料:農林水産省「生産農業所得統計」